

さくらCDカタログを使用して



以前から使用して見なければと思っていたCD さくらカタログを手にした。早速 DiscDrive にセットし、FILE 内容を確認、sakuracd2021.pdf のみである。サイズは 227.23MB、画像の多い内容にしてはやや軽い感である。早速、PDF ファイルをクリックして、立ち上げる。表紙と左にしおりが表示された。約 440 頁のさくらカタログ本(以後、書籍版と記す)と内容は広告まで全く同じ電子本である。気がかりは左上のカギのマーク。一部保護された PDF 電子本ということである。

確認すると幸い頁単位の印刷はできる。

しかし、下記のことができない。

●新たにしおりが作れない。

書籍版ならできる付箋を貼ったり、折ったりができない。

●メモ(ノート注釈)、赤線引き(ハイライト表示)、付箋ができない。

この2件ができないことはメモ等ができず、CD 立ち上げの度に過去のメモ、しるしがない真新しい電子本を手にする事で、とても不便である。

●紙面の単語、文等をコピーができない。

満州国皇帝(博儀)来訪記念 Visit of Emperor of Manchoukuo to Japan 等がコピーでアルバムに利用できれば便利なのだがと思う。

もし、出版側に編集内容を変更される不安があるなら、起動時に製品番号を求める保護の方が利用者にはありがたいと感じる。

1万種を超え、年間500種を超えて発行される日本切手、初心者にとって手にした切手を書籍版で確認することは困難になっている。この確認作業をCD版に期待すること大である。CD版の説明書にもそこを意識してか検索機能を説明している。早速、試してみた。

「鉄道」を検索、37件がヒット。満州国、

広告頁も対象となっていた。期待したヒット数よりはるかに少なく、内容を検討してみると、東海道電化完成、北陸トンネル開通、新幹線、蒸気機関車等がヒットしてない。当然である、PDFの検索機能であるから、活字として印刷してある文字が検索対象なので切手に印字された文字もふくめ、関連した語、文字も期待することはできない。機関車、電車、地下鉄、駅等、いくつかの語で検索し、合わせて検討することが求められる。画面をみながら切手名、図柄説明の文字を考慮した検索が必要であろう。切手になった絵画の作者名などは書籍版で図柄説明が多く印字されている事項は数多くヒットする。それでも「北斎」で21のヒットで、半数しか多分ヒットしてない。更に、意外なことが注意された。それは印刷方式と連刷の表示である。「階凹」、「種連刷」などの検索は思わぬ情報が得られた。

書籍版も含めて改善を望まれるのが切手図柄説明の徹底である。記念、シリーズ切手には図柄説明がなされているが、グリーティング切手には切手名だけで図柄説明は多くない。例えば、左下のグリーティング切手(2019.2.20 発行)を確認しようとする



と、検索語は料額の62、ナズナ絵(書籍、CD版の画像で判断できるか疑問)しかない。「ナズナ」で検索すると該当なし。

書籍版にも図柄説明が無いから

当然である。しかし、郵便会社の広報資料には記載されている。その他のグリーティング切手もシートの説明だけで切手の図柄説明がなく、1枚の切手を探すことが困難、問題を感じさせる。図柄説明でもう一点、改善を期待したい。それは切手に印字されている語は図柄説明に使用してほしい事である。ふると切手には料額以外に図柄説明と県名が表示はされている。当然、検索時にこの図柄説明語を検索語に使用したくなる。しかし、図柄説明に使用されてないものがある。次の2種の切手は「ニジッセイキナシ」でヒットするが、「二十世紀梨」ではヒットしない。他にもあり、ぜひ改善を期待したい。



1991年ふるさと切手
二十世紀梨・鳥取県



2000年ふるさと切手
ニッポン付付・鳥取県

「ニッポン付付」で2種ヒット
「二十世紀梨」でヒットせず

次に、ナズナ切手の画像でもふれたが、画像の解像度の問題である。多種連刷シートの発行が常態化し、更に、グリーティング、シリーズ切手のサイズの小型化が進み、加えてさくらの0.45倍のシート画像で手にした切手を確認することは苦痛である。図柄だけで手にした切手をカタログで特定することが困難である(下図)。



2019年春の
グリーティングの一種



0.46倍サクラ表示
シートからのナズ
ナ画像 72dpi

0.46倍サクラ表示
シートからのナズ
ナ画像 250dpi

電子版購読会員はPDFを200%で見てくださいとCDカタログ使用画像のdpiの重要さがお判りいただけると思います。

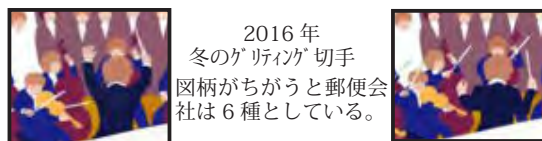
更に、毎年、図柄が同じでも背景の模様・グラデーションを微妙にちがえた切手が発行されている。その違いはよほど注意しないと判断がつかない。全くばかげた切手の発行である。その違いは高解像度画像に色調補正を加えてやっと見極めがつくかといった違いである。このばかげた切手の発行のために掲載画像を高解像度にするにはばからしいが、せめて1種でも良いから異なる部分を高解像度で拡大掲載して利用者の理解を得られるようにしてほしい。参考までに、この背景が異なる切手だけでなく、図柄の微妙な違いの切手をもUPUの切手紹介サイト <https://www.wnsstamps.post/en/WNS-Stamps/Stamp-Search> で全く無視して2種を1種にして説明文を掲載している。残念ながら、第九演奏図柄の違いはCD版で300%拡大でやっと判別がつく程度である。



2018年 ハッピーグリーティング切手ガデンワラ9,10切手の違い



2020年 ハッピーグリーティング切手葉と貝1,8切手の違い
左の図柄の切手2種の背景の違いを画像処理ソフトでかなり強く、色調を操作して目立った違いのある部分を拡大表示(電子版購読会員はぜひ拡大視下さい)



2016年
冬のグリーティング切手
図柄がちがうと郵便会社は6種としている。

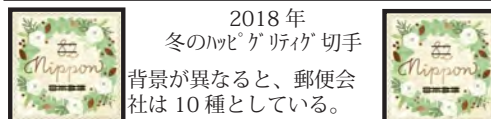
All registered stamps issued by Japan in 2016

JP552.16 UPUは図柄の差を無視し2種でなく1種とし

Country / Post	Japan
Date of Issue	2 December 2016
Primary theme	Music & Dance (Musicians & Conductors)
Subject	Holy Days & Celebrations (Personal greetings)
Subject	Greetings (Winter)
Width	25.0 mm
Height	21.0 mm
Denomination	82 ¥
Number in set	11 (show set)
Layout/Format	self-adhesive miniature sheet of 10 of 5 designs
Perforations	14 by 14
Stamp issuing	Postal Administration of Japan

10 of 6 designs が 10 of 5 designs になっている

Full Resolution Version



2018年
冬のハッピーグリーティング切手
背景が異なると、郵便会社は10種としている。

All registered stamps issued by Japan in 2018

JP539.18 UPUは背景の差を無視し10種でなく5種とし

Country / Post	Japan
Date of Issue	10 December 2018
Primary theme	Holy Days & Celebrations (Personal greetings)
Subject	Happy Greetings Celebration Designs
Width	25.0 mm
Height	25.0 mm
Denomination	82 ¥
Number in set	15 (show set)
Layout/Format	self-adhesive miniature sheet of 10 of 5 designs
Perforations	14 by 14
Stamp issuing	Postal Administration of Japan

10 of 10 designs が 10 of 5 designs になっている

Full Resolution Version

郵便会社が6種で10枚1シート、10種で10枚1シートと発表した内容をUPUは微妙な図柄、背景の違いは無視し常識的な内容で表示している。

CD版では電子メディアの利点を生かした編集をすべきであろう。400dpi位の解像度のシート画像を使用すれば、200%程度のズームで背景の差は無理でも図柄の違いは確認でき、さらに最近の「和の文様シリーズ切

手」の文様なども十分に楽しめるだろう。

結論としては

1. 検索は切手名、図柄説明の文字のみの PDF の文字検索であり、キーワード検索と違うことを説明する必要がある。

2. メモ、付箋が使えず、収集済みかをしるしさえ付けられない。使用の度に、真新しいカタログということがないようにロックの掛け方を検討してほしい。



さくら CD 版を検討しながら、稲門フィラテリーで話題になったことがない日本切手の電子メディアを思い出した。65 号で簡単に触れたが、ご存じない方がまだ多いと思いますので紹介させていただきます。

関西のコンピューターと切手に詳しい方々が作成した日本切手図鑑という DVD の切手図鑑です。なぜ、このような素晴らしいものが 2008 年で製作が終わってしまったのか不思議に思ったのだが、考えて見ればこの DVD の内容で毎年 400 ～ 600 種も発行される切手を有志の方だけで継続することは無理なことだったのではと、察します。それほど内容の充実した日本切手の図鑑、事典といっても過言ではないものです。

一使用例でその内容を紹介します。キー入力不要の図鑑、すべてマウスクリックで実行



です。立上げ画面の楕円箇所をクリックすると、画面 1 が表示されます。右側に

3. 現在の状態ではシート表示の切手等は書籍版と同じく、鮮明な切手画像を期待できない。ぜひ電子メディアの利点を生かして切手の美しさ、面白さを実感できる画像を準備してほしい。せめて 200dpm の画像 FILE を持った電子切手カタログであってほしい。

今後、改善がされ、使い勝手の良い CD 切手カタログとなることを期待したい。

編集子



画面 1 最初の年代順のページ

各種メニューボタンが表示される。次に 1958 年発行切手を目的に佐渡弥彦切手をクリック。1958 年発行の切手、はがきが表示された画面 2 になる。画面上の画像 FILE は 50dpi の BMP



画面 2 1958 年発行の切手類表示

趣味週間切手の内容を知る目的で雨傘をクリックすると画面 3 になる。趣味切手が 200dpi の bmp で表示される。



画面3 1958年切手趣味週間切手の画面

最低限の切手の情報とJPS、組合カタログの切手番号とデザイナー名が表示、ただ、印刷方式の表示が無いのが疑問。青枠内の切手趣味週間、鳥居清長、切手ブーム、柿渋の文字ボタンがこの図鑑の素晴らしい内容。製作者の方がこの切手から知ってほしいことを編集している。その内容はかなり詳細である。

画面3下のボタンの1つ柿渋をクリックすると和傘の和紙防水加工の伝統技法に用いる柿渋の説明が800字余りで説明されている。このように、切手収集は知識の宝庫探検の意味があることを知らしめてくれる図鑑になっていて、初心者にはぜひ使用してほしい。

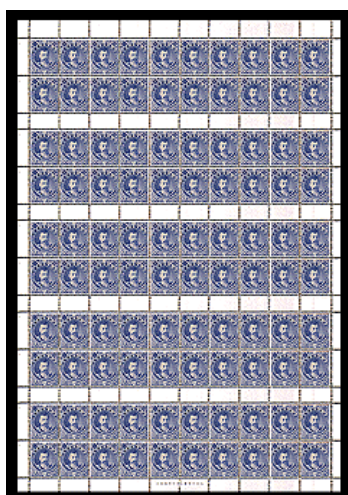
●柿渋：かきしぼ

柿渋は、中世から近代まで日本人の生活に密着した素材であった。日本各地（柿の産地でない北海道・沖縄は除く）の農村・漁村の家々で柿渋が作られ、その防腐効果・防水効果が様々に利用されていた。

柿渋は、渋柿を原料にした淡赤褐色の液体で、塗料・染料などとして用いる。柿渋に含まれる縮

画面4. 作者の切手への思いを感じさせる内容

また、戦前と1940年代のあまり目にすることができないシート、更に、土佐の村送り、収容所切手も知ることができ、また、はがきについても時系列で表示され記念ハガキなども詳しく知ることができる。加えて、郵便料金の変化と料金変更のために発行された普通切手が表示され、普通切手に新たな知識を持って、切手だけでなく郵便料金の歴史を知ることができる。



日清戦勝5銭100枚シート



土佐村送り切手、板東収容所切手、飛行通信切手
選択メニュー画面とその画像



郵便料金の変化とそれに合わせて発行された普通切手の一画面

更に、郵趣の広さ、切手に関する知識もひろげてくれる。数少ない4種の数字切手をクリックすると、35銭切手は郵便料金値上げ（葉書15銭が50銭）に伴う加貼用として発行された経緯、5銭葉書への加貼用の45銭切手は使用済み切手の少なく、民間会社2社で印刷されたことなどを知ることができる。数字切手に限らず普通切手の発行経緯、使用状況、郵趣品、日専カタログ記載内容程度までことを知ることができる。



加えて、従来のカタログでは記述で終わっている2002年W杯サッカーのシート13種をみることができるなど豊富な画像を用意



W杯決勝戦シート



テーマメニュー

している。

一つ疑問は説明書に「日本切手カタログ『さくら』に準拠し、日本切手の画像集・兼・データベースとして『うめ』を製作しました。」と記されているが、画像

集としては充分なものであるが、データベースとしては疑問だということである。全体を通してデータベースに近いことができるのはテーマ機能かと思う。テーマをクリックすると左下のようなメニューが開く、次いでスポーツをクリックすると競技選択画面になり、競技



競技選択画面と格闘技切手表示画面（部分）

を絞ると関連切手が表示される。滝、川、城、神社、京都などメニュー画面に目的のものがあればかなり詳しく切手一覧が表示されデータベースのような作業はできるが目的語を入力してワンステップでの検索でないので、確実性、スピードに欠ける。さくらCD版使用記でもふれたが詳細が不明な切手を手に、その図柄で思い浮かぶ言葉で検索し、切手を特定できることがデータベースには不可欠であることを考えると、文字入力による検索機能を準備してあれば残念な思いである。

しかし、一番の問題はこれだけの素晴らしい切手に関する電子メディアの発売が2008年で中断されてしまっていることである。これだけ切手資料が充実した電子メディアは海外にも存在しないのではないだろうか。この資産を無駄にすることはあまりにも残念である。ぜひ、JPSなどでカタログCD版とは別に再編集を検討いただきたい。

編集子